

ゴールしたランナーに飲み物を手渡す池田さん(平前石)



被災者支援ブースで寄付し、遠礼品を受け取るランナー

# 最多 2611人 笑顔で支援

## 能登の復旧願い募金箱

今大会は能登半島地ランとして開催。フ  
ランサーとして開催。フ  
蘭の被災者支援の輪を  
ル、ハーフ、10のゴ  
広げるチャリティーマ  
ールとなった福社市ス  
ポーツセンター(同市  
三輪)前のほか、市武  
道館(同市直穂)近く  
に支援ブースを設け、  
募金箱を置いた。

千人以上の寄付には  
市特産のセロリなど返  
礼品をボランティアが  
手渡し、10の出場の団  
体職員佐々木梢さん  
(41)や倉敷市西阿知町  
西原一は「被災地の皆  
さんが早く元の生活に  
戻れるよう少しでも力  
になれば」と話した。  
市は義援金金額を被災  
地へ届ける。

被災者支援を含め過  
去最多の百11人のボ  
ランティアが大会を支  
えた。市と協定を結ぶ  
岡山県内7大学の学生  
も参加。福立大1年松  
岡夕和さん(19)は第4  
給水所(岡山市北区加  
茂)でランナーに紙コ

ップの水を渡した。手  
に取りやすいように瓶  
し方を工夫した。感謝  
され、心が温まった。  
福社市内で暮らす外  
国人でつくる「福社イ  
ンターナショナルコミ  
ュニティー」の20人も  
ボランティアに参加。  
ゴールしたランナーに  
スポーツドリンクを振  
る舞ったワイリビン出  
身の自営業池田シエル  
さん(25)は「同市福社  
(寺尾邸、小野祐  
香、藤本梨那)

「お疲れさま」  
と明るく声をかける  
ことを心がけた。走り  
きつた後のすがすがし  
い表情を見ると元気を  
もらえる」と笑顔だっ  
た。

山陽新聞社提供

掲載の記事・写真及び、図版の無断転記を禁じます。